第3回離島対策等検討会 議事概要

1. 日時: 2004年6月11日13時30分～15時10分
2. 場所: 日本自動車会館11階(財)自動車リサイクル促進センター第1会議室
3. 出席者: 藤井座長、大杉委員、堀委員
その他(財)自動車リサイクル促進センター事務局、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題
離島対策支援事業要綱(案)について
不法投棄等対策の基本的考え方(案)について
5. 議事概要
本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関する質疑については後日、議事録を公表いたします。

(1) 議題 について

「離島対策支援事業要綱(案)」について、資料3・4を使用して事務局から説明し、本案について、今後資金管理業務諮問委員会に報告・承認を得た後、自動車リサイクル促進センターの評議員会、理事会で審議・承認を得る旨報告し、了承された。併せて、資料5「離島支援事業の自治体への説明について」についても、事務局から説明し、承認された。

< 意見 >

要綱(案)の8. 支払申請(2)の申請書締切りが2月末日となっているが、3月実施分の取扱いが不明確であるため、3月実施分の取扱いについて要綱に明記すべき。

要綱とは別に、市町村合併の場合や自動車で離島に来て事故により廃車になった場合などのイレギュラーなケースの対応についての考え方の整理をしておくべき。

(2) 議題 について

「自動車リサイクル法における不法投棄等対策の基本的な考え方(案)」について資料6を使用して事務局から説明し、本案について、今後資金管理業務諮問委員会および中環審・産構審合同会議に報告・

承認を得る旨、了承された。なお、本案に基づいて、今後作成する不法投棄等対策の自治体向け要綱案については、今回の検討会の意見を踏まえ、第4回離島対策等検討会(9月開催予定)で、成案の検討を行うことになった。

<意見>

不法投棄対策支援事業は自動車リサイクル法施行直後に集中し、他方、離島対策支援事業は毎年コンスタントに発生するという違いがあることを踏まえ、不法投棄対策には、要請があれば一定の期間を設けて対策を完了するということを確認するとともに、これが離島対策にしわ寄せが生じないようにすべき。

求償は極めて重要であるので、求償の実効性をどのように高めるのか、方策を検討すべき。

自治体にとって、できるだけわかりやすく、かつ、使いやすい実務を構築すべき。

6. 第4回離島対策等検討会議題について

次回検討会は下記について事務局より説明し、審議を行う。

- ・不法投棄等対策支援事業要綱(成案)に関する審議

以上